

こふんぶんか しもつけのくに  
古墳文化 と下野国

とちぎけんりつはくぶつかん  
栃木県立博物館ワークシート

てんじしつ  
展示室1

けんがくび ねん がつ にち  
見学日 年 月 日

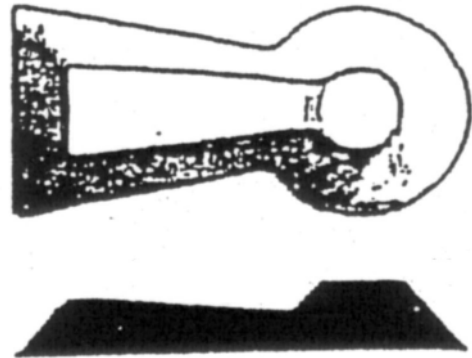
なまえ  
名前( )

1 亡<sup>な</sup>くなった支配者<sup>しはいしゃ</sup>を葬<sup>ほうむ</sup>るために土<sup>つち</sup>を  
高<sup>たか</sup>く盛<sup>も</sup>り上げてつくった右<sup>みぎ</sup>の図<sup>ず</sup>のよう  
な古代<sup>こだい</sup>のお墓<sup>はか</sup>を何<sup>なに</sup>というでしょう。

さいそうぼ  
再葬墓

こふん  
古墳

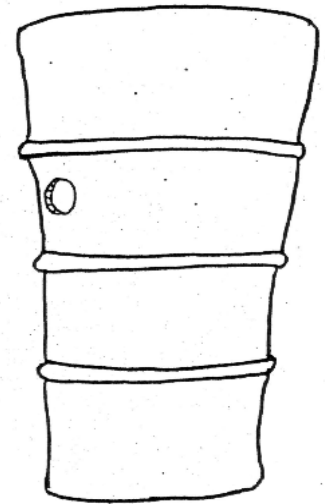
ピラミッド



2 お墓<sup>はか</sup>のまわりや、お墓<sup>はか</sup>の上<sup>うへ</sup>におかれた土<sup>つち</sup>でできた焼き物<sup>やもの</sup>  
を「埴輪<sup>はにわ</sup>」とよんでいます。展示室<sup>てんじしつ</sup>の中には図<sup>ず</sup>のような形<sup>かたち</sup>  
の円筒埴輪<sup>えんとうはにわ</sup>があります。

かかっている動物<sup>どうぶつ</sup>の名前<sup>なまえ</sup>は何<sup>なん</sup>ですか。

( )  
円筒埴輪<sup>えんとうはにわ</sup>の中に、かかっている動物<sup>どうぶつ</sup>の絵<sup>え</sup>を  
右<sup>みぎ</sup>の円筒埴輪<sup>えんとうはにわ</sup>の図<sup>ず</sup>にかき入れてみましょう。



3 左<sup>ひだり</sup>の道具<sup>どうぐ</sup>は、ある動物<sup>どうぶつ</sup>に乗<sup>の</sup>るために使<sup>つか</sup>われた  
ものです。その動物<sup>どうぶつ</sup>とは何<sup>なん</sup>でしょう。



うま  
馬

しか  
鹿

うし  
牛

4 下の写真は、国府で働く役人が使っていた道具です。道具の名前を展示室の中から  
見つけて書いてみましょう。



国府とは...  
奈良・平安時代に  
今の県知事にあたる  
国司が政治をした役所のことで、今の  
県庁のようなところです。

( ) ( ) ( )

5 仏教の力で国を治めようとした聖武天皇が東大寺に大仏を造ったころ、全国各地にもお寺が  
つくられました。

右の写真は、このころ建てられたお寺の  
風鐸（塔などの四隅につりさげられた鐘形の鈴）です。

何というお寺のものでしょう。

榊崎寺

下野薬師寺

輪王寺



6 5のお寺には、全国で3か所しかない戒壇（お坊さんになるための施設）がありました。  
このお寺と筑紫観世音寺（福岡県）のほかに、この戒壇があったお寺はどこでしょう。

( )